

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 22日

事業所名 おかえりホーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	室内は広いスペースを確保している	スペース内に静養室も設けている
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	男性スタッフ、女性スタッフに偏り過ぎないように配慮している	日によって利用者の数が違うので、送迎の点も合わせてシフトを考慮している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	室内はバリアフリーになっている	より利用しやすい施設を目指す
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	63%	38%	送迎終了時と朝礼時に、確認事項を共有している	些細なことにも気付くことのできるようにスキルアップしていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	86%	14%		こちらの認識との差を埋める材料としていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0%	100%	会議室に掲示している	ホームページの改善の一つとしていく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25%	75%		今後の課題として、実施していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13%	88%		オンラインで実施されている物など、できるだけ参加しやすい機会を利用する
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		定期的に計画作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50%	50%		アセスメントシートを作成している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		随時、話し合いながら行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	88%	13%		月ごとの行事・取り組むことを計画している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	88%	13%	平日の利用では、宿題・課題にも取り組めるようにしている。長期休暇では、お出かけを実施	利用児に応じた対応をしていく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用児の家族の意向に沿った活動計画の立案	課題を共有し、活動提案をしていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	88%	13%	朝礼・ミーティングで確認・共有	継続して実施
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	25%	75%	送迎終了時に共有すべき事項を共有している	その日に居なかったスタッフにも、状況がよく理解できるように努める
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	88%	13%	業務日誌、個別日誌に記録している	確実に内容が理解されるように、記述のスキルアップを図っていく
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的実施	相談支援員の方との情報共有と面談の実施	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	67%	33%	実施	継続して実施	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	75%	25%	管理者、児発管が出席	今後も適任者が参加する
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	送迎時や電話での確認を行っている	進学、進級時には特に注意を払い、連絡を取るようになっている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	60%	40%	かかりつけ施設、主治医の確認をしている	必要時に対応できるように家族と連携を取っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	20%	80%	相談支援事業所と連携を取っている	より深く連携を取れるように対応していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		対象者が出た場合には、しっかりと情報提供を行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14%	86%		慣習回答への参加を増やし、レベルアップを図る
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		地域イベントに参加できるように準備を進める
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	50%	50%	事業所連絡会に参加している	今後も継続して参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時の聞き取り、支援目標の設定時に情報共有と相互理解を行っている	今後も状況把握、相互理解に努めて行く
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	14%	86%	送迎時での情報共有	利用時の状態を伝え、家庭での対応のヒントとなるようにしていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に実施している	今後も変更点や質問があった場合には、その都度対応していく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	日々、連絡帳にて様子をもらい、対応している	継続して行っていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14%	86%		今後どのように開催が良いか、検討する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		現在も対応しているが、よりよくなるように会議等で話し合っていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	86%	14%	行事予定や活動について、Facebookや連絡帳にて実施	今後も実施
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	実行している	今後もより十分に配慮する
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	保護者との面談	視覚的に分かりやすいツールなどを利用している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17%	83%		コロナ感染のこともあり実施できなかったが、計画中である

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	57%	43%	作成済み	定期的を確認を行う
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	避難訓練の実施	今後も定期的実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	33%	67%	研修に参加	事業所内で共有
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	対象児童なし	身体拘束は行わない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約時に保護者に確認	定期的を確認を行う
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	80%	20%	事業所内に配布	定期的を確認